

2015年2月2日

各位

会社名 東京センチュリーリース株式会社
代表者名 代表取締役社長 浅田 俊一
(コード番号 8439 東証1部)
問合せ先 広報 I R 室長 松原 健志
(TEL03-5209-6710)

2015年3月期 第3四半期決算の概要について

本日発表の2015年3月期 第3四半期決算について、その概要をお知らせいたします。

記

1. 2015年3月期 第3四半期決算の概要

- ・ 当第3四半期連結累計期間におきましては、2013年度よりスタートさせた第二次中期経営計画(3ヵ年)の2年目として、「真の総合ファイナンス・サービス企業」を目指すため、以下の営業基盤強化策を実行いたしました。
- ・ 「ファイナンス事業の強化」と「海外ビジネスの拡大」のコア戦略として航空機関連ビジネスの拡大を図るべく、米国に本社を置く大手金融・リース会社である CIT Group Inc.との合弁会社(連結子会社)をアイルランドと米国に設立し、共同で航空機リース事業を行うこととしました。なお、当該合弁会社は、比較的若年の汎用機をターゲットとし、2年間で総額2,000億円規模の投資を計画しております。
- ・ また、京セラ TCL ソーラー合同会社(京セラ株式会社との共同出資)は、水上設置型としては世界最大(2014年12月22日時点)となる約13.4MWのメガソーラー発電事業(千葉県市原市:山倉ダム)に取り組むこととしました。
- ・ 経営基盤強化策としては、無担保社債(社債間限定同順位特約付)を発行し、資金調達が多様化による財務基盤の充実と強化に取り組んでまいりました。
- ・ 事業の成果としては、契約実行高が前年同期比13.6%増加の1兆707億86百万円、営業保証を含む営業資産残高は前期末比6.0%増加の2兆8,064億円となりました。
- ・ 損益面につきましては、一昨年の10月に日本カーソリューションズ株式会社を連結子会社としたことによる増収・増益を主因に、売上高は前年同期比9.1%増加の6,620億66百万円、営業利益は同11.1%増加の426億10百万円、経常利益は同6.1%増加の443億47百万円となりました。一方、四半期純利益は前年同期に計上した特別利益の反動減および少数株主利益の増加などにより同4.7%減少の246億92百万円となりました。

2. 財務ハイライト（連結）

	2013/12期 (13/4-12)	2014/12期 (14/4-12)	前年同期比		2015/3期 業績予想	
			増減額	増減率	(2014/5/8公表)	進捗率
売上高	6,069.2	6,620.7	551.5	9.1%	8,600	77.0%
（契約実行高）	9,425.5	10,707.9	1,282.4	13.6%		
営業利益	383.5	426.1	42.6	11.1%	563	75.7%
経常利益	417.8	443.5	25.7	6.1%	570	77.8%
四半期純利益	259.0	246.9	-12.0	-4.7%	333	74.2%

	2014/3期	2014/12期	前期末比	
			増減額	増減率
総資産	28,847.7	30,435.5	1,587.7	5.5%
（うち現預金）	798.4	771.2	-27.2	-3.4%
営業資産	26,467.8	28,064.0	1,596.2	6.0%
純資産	2,854.8	3,180.4	325.6	11.4%
自己資本比率	8.8%	9.1%	0.3pt	—

※ 営業資産には営業保証を含みます。

3. 損益の状況（連結）

- ・ 経常利益は、一昨年の10月に連結子会社となった日本カーソリューションズ株式会社などの影響により、前年同期比6.1%増加の443.5億円となりました。

	2013/12期 (13/4-12)	2014/12期 (14/4-12)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	6,069.2	6,620.7	551.5	9.1%
売上原価	5,379.1	5,711.6	332.5	6.2%
うち資金原価	68.0	76.7	8.7	12.7%
売上総利益	690.0	909.1	219.0	31.7%
販売費及び一般管理費	306.6	482.9	176.4	57.5%
うち貸倒費用	-12.4	-9.0	3.3	—
営業利益	383.5	426.1	42.6	11.1%
営業外損益	34.4	17.4	-17.0	-49.5%
経常利益	417.8	443.5	25.7	6.1%
特別損益	1.3	-2.9	-4.2	-321.4%
税金等調整前四半期純利益	419.1	440.6	21.5	5.1%
四半期純利益	259.0	246.9	-12.0	-4.7%

4. 資金調達の状況（連結）

- ・ 有利子負債残高は、営業資産残高の増加に伴い前期末比1,749億円増加の2兆3,866億円となりました。

	2013/3末	2014/3末	2014/12末	増減額
有利子負債残高	19,392	22,117	23,866	1,749
コマーシャル・パブリック	6,489	7,393	7,687	294
MTN	297	365	507	142
社債	950	1,421	1,574	154
債権流動化	547	660	649	-12
短期借入金	3,407	4,152	5,074	921
長期借入金	7,702	8,126	8,376	250
短期調達比率	54.9%	55.9%	56.7%	0.8Pt
直接調達比率	42.7%	44.5%	43.6%	-0.9Pt

5. 営業の状況（連結）

- ・ 契約実行高は前年同期比 13.6%増加の 1 兆 708 億円となりました。営業保証を含む営業資産残高は前期末比 6.0%増加の 2 兆 8,064 億円となりました。

	2013/12期 (13/4-12)	2014/12期 (14/4-12)	増減率	2015/3期 計画
契約実行高	9,425	10,708	13.6%	14,500
リース	4,759	4,977	4.6%	
割賦	816	787	-3.6%	
ファイナンス	3,801	4,940	30.0%	
その他	50	4	-91.1%	
	2014/3末	2014/12末	増減率	2015/3末 計画
営業資産残高	26,468	28,064	6.0%	28,000 ~28,500
リース	17,839	18,523	3.8%	
構成比	67.4%	66.0%		
割賦	2,137	2,235	4.6%	
構成比	8.1%	8.0%		
ファイナンス	6,424	7,237	12.7%	
構成比	24.3%	25.8%		
その他	68	69	1.7%	
構成比	0.2%	0.2%		

※ ファイナンスには営業保証残高を含みます。

6. 2015年3月期 連結業績予想

- ・ 2015年3月期の連結業績予想につきましては、2014年5月8日に公表しました数値から修正は行っていません。

連結業績予想	2014/3期	2015/3期予想	
		前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	8,286	8,600	314 3.8%
営業利益	514	563	49 9.5%
経常利益	552	570	18 3.3%
当期純利益	331	333	2 0.8%

7. 期末配当予想

- ・ 期末配当予想は、2014年11月4日に2014年5月8日公表予想から1株あたり4円増配の32円とし、年間配当では1株あたり56円から8円増配の64円とすることを公表しております（通期ベースの実績では前期比1株あたり12円の増配）。

配当予想	2014/3期	2015/3期予想			
		(2014/11/4) 公表	(2014/5/8) 公表	期初比 増減額	前期比 増減額
一株当たり当期純利益	311.64	314.74	314.74	—	3.10
年間配当金	52.0	64.0	56.0	8.00	12.00
中間配当金	26.0	32.0	28.0	4.00	6.00
期末配当金	26.0	32.0	28.0	4.00	6.00
配当性向	16.7%	20.3%	17.8%	2.5pt	3.6pt

※ 本資料には現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した将来予測数値が含まれますが、実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご留意下さい。

以上